

減額などで前年度対比77.2%の減となったものでございます。

260ページをお開きください。3項中学校費は、支出済額1億3,118万8,368円で前年度対比18.4%の増となりました。主な内容としましては、1目の学校管理費で支出済額1億661万4,681円となり、備考欄にございます004の学校施設管理事業費や263ページの備考欄になりますが、006のスクールバス運行事業におけるスクールバスの購入などにより、前年度対比27.2%の増となったものでございます。

264ページをお開きください。4項社会教育費は、支出済額4億732万9,385円で前年度対比19.1%の増となりました。主な内容としまして、1目の社会教育総務費は、支出済額6,606万9,637円で前年度対比1.4%の減。266ページになりますが、2目生涯学習推進費は、支出済額1,995万6,591円で前年度対比5.9%の増となっております。268ページをお開き願います。3目公民館費は、支出済額8,462万7,913円で前年度対比7.9%の増。270ページをお開きください。5目芸術文化費は、支出済額3,344万3,373円で前年度対比34.3%の増となりました。少し飛びますが、276ページをお開きください。7目置賜生涯学習プラザ費は、支出済額1億1,638万3,576円となり、備考欄にございます007地域の元気臨時交付金事業の実施などに伴い、前年度対比86.5%の増となりました。

278ページをお開きください。下段になりますが、5項の保健体育費は、支出済額1億6,654万6,675円で前年度対比11.6%の増となりました。主な内容でございますが、282ページをお開きください。2目体育施設費では、支出済額2,532万9,832円、前年度対比112.1%の増となりました。これは、285ページの備考欄になりますが、003その他体育施設管理運営事業費が増額したことによるものでございます。下段の3目学校給食費は、支出済額9,070万803円

で前年度対比1.0%の減となりました。

286ページをお開き願います。下段の11款災害復旧費は、支出済額2億7,669万8,010円で前年度対比は417.7%の増、歳出総額に占める構成比率は2.1%となっております。1項農林水産業施設災害復旧費は、支出済額6,707万3,389円で前年度対比1,611.1%の増。

288ページをお開きください。2項の公共土木施設災害復旧費は、支出済額1億9,193万2,121円で前年度対比287.5%の増となりました。これは、290ページになりますが、3項社会体育施設災害復旧費、209ページになりますが、4項その他公共施設災害復旧費が新設されてございます。これは、平成24年度の異常低温による道路の凍上災及び平成25年7月の豪雨災害による災害復旧事業の支出でございます。

次に、12款公債費は、支出済額10億9,810万5,960円で前年度対比26.0%の減、歳出総額に占める構成比率は8.5%となりました。

13款予備費は、議決予算額2,000万円のうち1,338万3,657円を緊急を要する市税の還付金等に充用いたしてございます。

以上で歳出総額は129億5,981万1,489円で、前年度対比では0.6%の増となりました。

続きまして、実質収支に関する調書でございますが、411ページをごらんいただきたいと思います。

今申し上げました歳入総額、さらには歳出総額の結果、3にございます歳入歳出差し引き額は5億4,673万9,280円で、5の実質収支額は4の翌年度へ繰り越すべき財源5,187万1,550円を差し引きました4億9,486万7,730円となりました。

以上が平成25年度一般会計歳入歳出決算の概要でございます。ご審査の上、ご認定賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○**大道寺 信委員長** 次に、認第1号の平成25年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算及

び平成25年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の2件について。

松本 弘市民課長。

○松本 弘市民課長 まず、平成25年度長井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明いたします。

事項別明細書によりご説明いたしますので、歳入歳出決算書の296ページをお開きください。歳入からご説明いたします。

1 款国民健康保険税につきましては、調定額9億318万6,025円に対し、収入済額は前年度対比1.6%増の6億7,932万7,210円となっております。調定額のうち、3,514万10円を不納欠損処分し、収入未済額は1億8,871万8,805円となっております。

298ページをお開きください。2 款一部負担金は、前年度同様、収入がございませんでした。

3 款使用料及び手数料の収入済額は、1 項2 目の督促手数料で、前年度対比13.2%増の48万7,760円となっております。

4 款国庫支出金の収入済額は、前年度対比3.2%減の5億4,243万3,636円となっております。1 項国庫負担金につきましては、1 目の療養給付費等負担金が4億1,278万9,762円、300ページをお開きください、2 目の高額医療費共同事業負担金が936万5,874円、3 目の特定健康診査等負担金が340万3,000円で、1 項合計では前年度対比2.2%増の4億2,555万8,636円、2 項国庫補助金につきましては1 目の財政調整交付金1億1,611万円などで前年度対比18.7%減の1億1,687万5,000円となっております。

5 款療養給付費交付金の収入済額は、前年度対比4.2%減の1億9,873万8,963円で、1 目の退職者療養給付費交付金が1億1,885万5,717円、2 目の後期高齢者支援金相当額が7,988万3,246円となっております。

302ページをお開きください。6 款前期高齢者交付金の収入済額は、前年度対比2.3%減の

5億9,652万2,483円となっております。

7 款県支出金の収入済額は、前年度対比8.4%増の1億3,976万5,874円となっております。1 項県負担金につきましては、1 目の高額医療費共同事業負担金が936万5,874円、2 目の特定健康診査等負担金が320万9,000円で、1 項合計では0.2%増の1,257万4,874円。2 項県補助金につきましては、1 目の財政調整交付金が1億2,719万1,000円で9.3%の増となっております。

8 款共同事業交付金の収入済額は、前年度対比9.1%減の2億5,002万1,222円で、1 目の高額医療費共同事業交付金が3,366万6,461円、2 目の保険財政共同安定化事業交付金が2億1,635万4,761円となっております。

9 款財産収入の収入済額は、前年度対比61.8%増の21万3,632円で、304ページをお開きください、全額給付基金の利子収入となっております。

10 款繰入金の収入済額は、前年度対比2.2%増の1億3,590万8,509円となっております。1 項一般会計繰入金につきましては、1 目1 節の収入済額4,681万5,537円の内訳といたしまして、事務費分が686万6,918円、財政安定化支援事業分が2,652万3,000円、出産育児一時金分が616万円、国庫負担金減額相当分が726万5,619円となっております。2 節の保険基盤安定繰入金8,909万2,972円との合計で2.2%増の1億3,590万8,509円となっております。2 項基金繰入金につきましては、給付基金からの繰り入れを行わなかったため、収入がございませんでした。

11 款繰越金の収入済額は、前年度対比6.3%増の1億3,311万7,191円で、1 目の療養給付費交付金繰越金が520万9,037円、2 目のその他繰越金が1億2,790万8,154円となっております。

12 款諸収入の収入済額は、前年度対比20.6%減の882万1,507円となっております。1 項延滞金につきましては、1 目の一般被保険者の保険

税延滞金が435万1,103円、306ページをお開きください、2目の退職被保険者等の保険税延滞金が79万4,745円で、1項合計では22.3%増の514万5,848円、2項預金利子は収入がなく、3項雑入につきましては、3目の一般被保険者返納金183万9,799円、5目2節の特定健康診査個人負担金131万円などで46.7%減の367万5,659円となっております。

以上により、歳入合計では調定額29億922万2,472円に対し、収入済額は前年度対比1.3%減の26億8,535万7,987円で、収入率は92.3%、調定額のうち3,514万10円を不納欠損処分し、収入未済額は1億8,872万4,475円となっております。

次に、歳出についてご説明いたしますので、308ページをお開きください。

1款総務費の支出済額は、前年度対比0.5%増の1,780万9,971円で、予算現額から支出済額を差し引いた不用額は479万9,029円となっております。1項総務管理費につきましては、1目一般管理費が1,359万2,282円、2目連合会負担金が264万8,200円で、1項合計では0.9%増の1,624万482円。2項徴税费につきましては4.3%減の115万1,759円。3項運営協議会費につきましては1.3%増の14万740円。310ページをお開きください。4項趣旨普及費につきましては、パンフレットなどの印刷製本費で3.5%減の27万6,990円となっております。

2款保険給付費の支出済額は、前年度対比0.2%増の16億8,934万3,473円で、不用額は1億3,677万6,527円となっております。1項療養諸費につきましては、一般被保険者分の1目の療養給付費と3目の療養費の合計で0.2%増の13億3,472万4,262円、退職被保険者等分の2目の療養給付費と4目の療養費の合計で1.4%増の1億6,716万5,868円、5目の審査支払手数料が0.1%減の569万4,020円となり、1項合計では0.3%増の15億758万4,150円。2項高額療養

費につきましては、312ページをお開きください。一般被保険者分の1目の高額療養費と3目の高額介護合算療養費の合計で1.6%減の1億4,763万7,702円、退職被保険者等分の2目の高額療養費と4目の高額介護合算療養費の合計で12.1%増の2,263万1,621円となり、2項合計では前年度とほぼ同額の1億7,026万9,323円。3項移送費は支出がなく皆減。4項出産育児諸費につきましては、22件分の出産育児一時金で21.4%減の924万円。5項葬祭諸費につきましては、45件分の葬祭費で4.3%減の225万円となっております。

314ページをお開きください。3款後期高齢者支援金等の支出済額は、前年度対比1.5%増の3億3,462万1,330円で、不用額は2万5,670円となっております。後期高齢者医療制度に係る費用のうち、おおむね4割を負担するものでございます。

4款前期高齢者支援金等の支出済額は、前年度対比2.9%減の32万1,160円で、不用額は840円となっております。65歳以上75歳未満の加入者に係る保険給付費及び後期高齢者支援金に関し、各保険者間の前期高齢者の偏在による負担の不均衡を調整するために負担するものでございます。

5款老人保健拠出金の支出済額は、前年度対比88.1%減の1万5,703円で、不用額は3,297円。

6款介護納付金の支出済額は、前年度対比3.3%増の1億5,427万6,230円で、不用額は770円。

316ページをお開きください。7款共同事業拠出金の支出済額は、1目の高額医療費共同事業に対する拠出金3,704万1,062円、2目の保険財政共同安定化事業に対する拠出金2億2,506万839円などで、前年度対比5.2%減の2億6,210万2,929円となり、不用額は5,071円となっております。

8款保健事業費の支出済額は、前年度対比

1.8%減の2,233万2,108円で、不用額は279万2,892円となっております。1項特定健康診査等事業費につきましては、40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者に係る特定健康診査等の事業費を一般会計に繰り出すものでございまして、48.2%減の1,010万3,000円。2項保健事業費につきましては、1目の医療費通知事業165万787円、318ページをお開きください、独自健診事業費一般会計繰出金916万6,390円などで276.3%増の1,222万9,108円となっております。

9款基金積立金の支出済額は、前年度同額の7,000万円。

10款諸支出金の支出済額は、前年度対比12.5%減の2,990万3,226円で、不用額は1,068万7,774円となっております。1項償還金及び還付加算金につきましては、1目及び2目の保険税還付金の合計で280万4,700円、3目の国庫支出金等精算償還金2,659万666円で11.9%減の2,939万5,366円。2項貸付金につきましては、高額療養費の貸付金で43.8%減の34万7,000円。320ページをお開きください。3項指定公費給付金につきましては、17.5%減の16万860円となっております。

11款予備費からの支出はございませんでした。

以上により、歳出合計では予算現額27億4,580万4,000円に対し、支出済額は前年度対比0.3%減の25億8,072万6,130円で、予算執行率は94.0%、不用額は1億6,507万7,870円となっております。

歳入合計の収入済額26億8,535万7,987円から歳出合計の支出済額25億8,072万6,130円を差し引いた残額1億463万1,857円を平成26年度に繰り越して決算を終了しております。

次に、平成25年度長井市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算についてご説明をいたしますので、396ページをお開きください。歳入からご説明いたします。

1款後期高齢者医療保険料は、調定額1億

8,945万9,008円に対し、収入済額は前年度対比2.6%増の1億8,794万400円で、収納率は99.2%となっております。調定額のうち53万6,188円を不納欠損処分し、収入未済額は101万3,420円となっております。

2款使用料及び手数料の収入済額は、2目の督促手数料で前年度対比19.8%減の5万3,500円。

3款繰入金の収入済額は前年度対比1.5%減の1億399万6,574円で、1目の事務費繰入金が1,920万1,043円、2目の保険基盤安定繰入金が8,479万5,531円となっております。

4款繰越金の収入済額は、前年度対比9.2%減の410万9,100円。

5款諸収入の収入済額は、前年度対比22.1%減の25万5,000円で、398ページをお開きください。1項延滞金及び過料につきましては、1目の保険料の延滞金で4万7,900円、2項償還金及び還付加算金につきましては、1目の保険料還付金で19万500円、3項預金利子は収入がなく、4項雑入につきましては、特別対策補助金で1万6,600円となっております。

以上により、歳入合計では調定額2億9,787万3,182円に対し収入済額は前年度対比0.9%増の2億9,635万4,574円で、収入率は99.5%、調定額のうち53万6,188円を不納欠損処分し、収入未済額は101万3,420円となっております。

次に、歳出についてご説明いたします。400ページをお開きください。

1款総務費の支出済額は、前年度対比1.1%減の479万3,119円で、不用額は32万7,881円となっております。1項総務管理費につきましては、後期高齢者医療制度の事務処理に要する経費で1.5%増の39万7,193円、2項徴収費につきましては、保険料の賦課徴収に要する経費で、電算業務委託料381万400円などで1.3%減の439万5,926円となっております。

2款後期高齢者医療広域連合納付金の支出済

額は、保険料等負担金が1億8,777万5,800円、保険基盤安定制度分が8,479万5,531円、事務費負担金が1,447万8,224円で、合計では前年度対比0.9%増の2億8,704万9,555円となり、不用額は338万4,445円となっております。

3款諸支出金の支出済額は、前年度対比38.9%増の14万200円で、不用額は16万800円となっております。支出済額の全額が保険料還付金となっております。

402ページをお開きください。以上により、歳出合計では、予算現額2億9,585万6,000円に対し支出済額は前年度対比0.9%増の2億9,198万2,874円で、予算執行率は98.7%、不用額は387万3,126円となっております。

歳入合計の収入済額2億9,635万4,574円から歳出合計の支出済額2億9,198万2,874円を差し引いた残額437万1,700円を平成26年度に繰り越しして決算を終了しております。

以上でございますが、よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願いいたします。

**○大道寺 信委員長** 次に、認第1号の平成25年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算及び平成25年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算並びに平成25年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の3件について。

横山賢一上下水道課長。

**○横山賢一上下水道課長** 平成25年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出の概要についてご説明申し上げます。

それでは、決算書の26ページをごらんください。歳入につきましては、収入済額合計は、使用料及び手数料、国庫支出金や市債等の減により、前年度対比2億1,374万3,671円、13.2%減の14億178万6,117円で、調定額に対し98.8%となっております。

28ページをお開きお願いいたします。歳出につきましては、支出済額合計は、公共下水道管理センター改築更新工事が終了したことによる

委託料の減などにより、前年度対比2億1,824万5,854円、13.5%減の13億9,294万4,286円で、予算現額に対する執行率は98.4%となっております。なお、翌年度繰越額については、繰越明許費でございます。

それでは、30ページをお開きお願いいたします。歳入歳出差し引き残額は884万1,831円となり、翌年度に繰り越すものであります。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。324ページをお開きお願いいたします。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目下水道受益者負担金、収入済額は1,579万9,570円で、歳入総額の1.1%となり、収納率は現年度分で94.7%、滞納繰越分で12.8%となっております。

2款使用料及び手数料、1項1目下水道使用料につきましては、収入済額は前年度対比で138万7,202円減の3億115万9,420円で、歳入総額の21.5%となっております。収納率は現年度分で98.7%、滞納繰越分で38.7%となっております。また、不納欠損額は22件で20万8,324円が生じております。これは、転出後、行方不明などにより時効となったものなど、収入不可能と判断し、不納欠損処分とさせていただいたものでございます。2目下水路使用料は29万2,600円、3目督促手数料は2万2,560円。

3款国庫支出金、1項1目下水路事業費国庫補助金は、社会資本整備総合交付金、汚水処理施設整備交付金など、前年度繰越明許分を含め7,400万円で、収入総額の5.3%となっております。

4款繰入金、1項1目一般会計繰入金は7億3,400万円で、歳入総額の52.4%となっております。

326ページをお開きお願いいたします。5款繰入金、1項1目繰入金は、前年度繰入金の433万9,648円。

6款諸収入、1項1目延滞金は、受益者負担

金の24万4,200円。3項1目雑入は2万8,119円で、備考欄に記載のとおりでございます。

7款市債、1項1目下水道事業債につきましては、前年度繰越明許分を含め2億7,190万円で、歳入総額の19.4%となっております。

328ページをお開きお願いいたします。支出につきましてご説明申し上げます。

1款公共下水道事業費、1項公共下水道事業費につきましては、支出済額3億4,133万7,621円で、翌年度繰越額1,429万6,000円で、予算現額に対する執行率は93.9%となっております。

うち1目公共下水道総務費は4,067万700円で、主なもので職員人件費に、下水道使用料徴収等事務及び電算処理業務などの委託料、置広共同処理事務分担金や排水設備等設置改造資金利子補給金、その他関係諸団体への負担金などがございます。2目公共下水道事業費2億590万7,220円で、主なもので職員人件費と、330ページをお願いいたします、備考欄で公共下水道管理センター再構築基本設計、長寿命化計画委託料1,600万円、そのほか実施設計及び下水道施設台帳整備業務などの委託料、また、汚水管の布設工事で補助、単独分を合わせた発注件数9件分などの工事請負費1億6,385万9,850円のほか、下水道工事に伴う上水道移転補償費などがございます。なお、繰越明許費につきましては、年度内完成ができなかった汚水管の布設工事請負費で1,429万6,000円を翌年度に明許繰り越いたしました。本年度の汚水管の布設工事は、台町、花作、草岡地区のそれぞれの一部で実施し、平成25年度末の整備率は前年度より1.0%アップの94.0%に達してございます。

次に、332ページをお願いいたします。3目管渠管理費は1,879万5,392円で、主に下水道取りつけ管等保守及び雨水幹線維持管理工事などの工事請負費などがございます。4目管理センター費は7,596万4,309円で、主なもので333ページ、備考欄のとおり、汚泥の濃縮及び消臭用

の薬品費や処理施設の光熱水費に管理センター運転保守点検業務委託料3,376万3,800円及び脱水ケーキ処分委託料2,052万8,636円などで、そのほか管理センターの管理及び設備機械等の清掃、点検等の委託料でございます。

2款1項公債費につきましては10億5,097万6,665円で、1目元金は長期債償還元金の8億6,433万5,689円、334ページをお願いいたします、2目利子は長期債利子の1億8,664万976円でございます。

3款1項1目下水道施設災害復旧費は、支出済額63万円で、平成25年7月22日に発生した豪雨災害によって被災した下水道管理センター内のマンホール及び舗装等の復旧工事費でございます。

以上が平成25年度長井市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成25年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。38ページをお開きお願いいたします。

歳入につきましては、収入済額合計は前年度対比1,123万7,450円で7.8%増の1億5,583万4,055円となり、調定額に対し99.3%となっております。

40ページをお開き願います。歳出につきましては、支出済額合計は今泉地区排水処理施設の経年劣化による機械・電気設備修繕費により、前年度対比1,204万2,341円、8.4%増の1億5,579万2,305円となりました。予算現額に対する執行率は98.0%となっております。

42ページをお開きお願いいたします。歳入歳出差し引き残額は4万1,750円となり、翌年度に繰り越しいたしました。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。346ページをお開きお願いいたします。

歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目農業集落排水事業分担金は、今泉、大

久保地区とも新規加入がなかったことからございませんでした。

2款使用料及び手数料、1項1目施設使用料及び2目督促手数料につきましては5,269万9,029円で、うち1目施設使用料の収入済額は、前年度より227万5,403円減の5,269万7,329円となり、今泉地区、大久保地区の処理施設使用料となっております。収納率は現年度分で98.8%、滞納繰越分で55.8%となり、不納欠損額は1件で1万1,022円が生じており、転出後、行方不明により時効となったもので、収入不可能と判断し、不納欠損処分とさせていただいたものでございます。

3款繰入金、1項1目一般会計繰入金は、前年度対比14.2%増の1億177万7,000円で、歳入総額の65.3%となっております。

4款繰越金は、前年度繰越金84万6,641円あります。

348ページをお開き願います。5款諸収入、3項1目雑入は、修繕工事に伴う撤去したポンプの売り上げ収入と、豪雨災害による建物災害共済金で、51万1,385円あります。

350ページをお開き願います。歳出についてご説明申し上げます。

1款1項農業集落排水事業費につきましては、支出済額4,817万8,286円で、予算現額に対する執行率は93.9%でございます。うち1目農業集落排水事業総務費は1,257万8,108円で、主なもので職員人件費、使用料徴収等事務委託料及び公課費として消費税還付額などがございます。2目今泉排水施設運営費は2,801万7,167円で、処理施設の光熱水費、日常及び基本運転点検業務委託料などが主なものでございます。3目大久保排水施設運営費は758万3,011円で、備考欄に記載してある処理施設の光熱水費、次の352ページをお開きお願いいたします、日常及び基本運転点検業務委託料などがございます。

2款1項公債費につきましては、1億657万

9,769円で、1目元金は長期債償還元金で7,814万7,535円、2目利子は長期債利子の2,843万2,234円でございます。

3款1目1項農業集落排水施設災害復旧費につきましては103万4,250円で、豪雨災害による今泉地区農業集落排水処理施設のポンプ及び照明器具等の修繕工事費でございます。

以上が平成25年度長井市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

続きまして、平成25年度長井市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

56ページをお開きお願いいたします。歳入につきましては、浄化槽設置数の増加に伴い、分担金、使用料及び手数料、国庫支出金、下水道事業債などの増により、収入済額合計は前年度対比4,119万5,027円、49.5%増の1億2,438万8,048円で、調定額に対し100%となっております。

58ページをお開き願います。歳出につきましては、浄化槽設置数の大幅な増加により、支出済額合計は前年度対比3,545万4,523円、42.9%増の1億1,814万6,968円で、予算現額に対する執行率は、翌年度に繰越明許費として7,879万4,000円を繰り越すことから59.3%となっております。

60ページをお開きお願いいたします。歳入歳出差し引き残額は624万1,080円となり、翌年度に繰り越しいたしました。

それでは、事項別明細書によりご説明申し上げます。

386ページをお開きお願いいたします。歳入につきましては、1款分担金及び負担金、1項1目浄化槽事業分担金は、収入済額1,096万円で、収納率は100%でございます。

2款使用料及び手数料、1項1目浄化槽使用料及び2目督促手数料は、収入済額2,701万5,425円で、収入未済額はございません。

3 款国庫支出金、1 項 1 目特定地域生活排水処理事業国庫補助金は3,143万9,000円で、歳入総額の25.3%となり、4 款県支出金、1 項 1 目特定地域生活排水処理事業費県補助金につきましては394万円で、歳入総額の3.2%となっています。

5 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金は1,811万円で、歳入総額の14.6%となっています。

次に、388ページをお開きお願いいたします。6 款繰越金は前年度繰越金の50万576円、7 款諸収入、3 項 1 目雑入の62万3,047円は消費税還付金でございます。

8 款市債、1 項 1 目下水道事業債につきましては3,180万円で、歳入総額の25.6%となっています。

続いて、歳出についてご説明申し上げます。

390ページをお開きお願いいたします。1 款 1 項浄化槽事業債につきましては、支出済額1億781万6,013円で、予算現額に対する執行率は57.1%でございます。うち1 目浄化槽事業総務費は2,869万2,273円で、主なもので浄化槽検査手数料229万6,000円及び浄化槽保守点検清掃委託料1,970万6,400円、放流ポンプ等設置補助金3件分で15万円などでございます。2 目浄化槽事業費は7,912万3,740円で、主なもので浄化槽設置工事請負費の55件、66基分7,009万8,000円、そのほか職員の人件費などでございます。

2 款 1 項公債費につきましては1,033万955円で、次の392ページをお開きお願いいたします。1 目元金は長期債償還元金で522万5,890円、2 目利子は長期債利子の110万5,065円でございます。

以上が平成25年度浄化槽事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。

以上、特別会計決算3件につきまして、よろしくご審査の上、ご認定賜りますようお願い申し上げます。

○**大道寺 信委員長** 次に、認第1号の平成25年度長井市山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算について。

谷澤秀一企画調整課長。

○**谷澤秀一企画調整課長** 平成25年度山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算についてご説明申し上げます。

事項別明細書によりご説明いたしますので、338ページをごらんください。

歳入についてご説明いたします。

1 款分担金及び負担金、1 項 1 目山形鉄道運営助成費負担金でございます。予算現額は4,398万円、収入済額、同額でございます。これは、長井市を除く県、1 市 2 町からの負担金でございます。昨年と同額でございます。

2 款財産収入、1 項 1 目利子及び配当金、予算現額18万5,000円、収入済額13万4,354円でございます。これは基金の利子でございます。

3 款繰入金、1 項 1 目一般会計繰入金、予算現額2,142万円、これは収入済額と同額でございます。この内訳は、長井市の運営負担分1,602万円、繰越明許の予算、国庫支出金が480万円と地方の元気臨時交付金相当分60万円でございます。

次に、2 項 1 目基金繰入金、当初予算6,000万円に事業負担分として1,870万円を基金から繰り出しまして、予算現額としまして7,870万円、収入済額も同額でございます。

4 款繰越金、予算現額420万円、収入済額、同額でございます。これは前年度繰越金でございます。

5 款諸収入、1 項 1 目雑入、予算現額310万円、収入済額、同額でございます。これは平成24年度運営助成費補助金の確定によります返還金でございます。

続きまして、342ページをごらんください。歳出でございます。

1 款山形鉄道助成費、1 項 1 目の運営助成費



でございます。当初予算6,000万円に1,870万円の補正及び前年度繰り越し事業費900万円により、予算現額8,770万円でございます。支出済額は8,754万6,040円、不用額は15万3,960円でございます。

2款基金積立金、1項1目基金積立金、当初予算6,018万5,000円に370万円の補正によりまして、予算現額6,388万5,000円となっております、支出済額は6,383万4,354円、基金に積み立ていたしております。

次に、実質収支に関する調書でございます。412ページをごらんください。歳入総額1億5,153万4,354円、歳出総額1億5,138万394円、歳入歳出差し引き額15万3,960円、実質収支額15万3,960円となっております。

以上が山形鉄道運営助成事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

**○大道寺 信委員長** 次に、認第1号の平成25年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算について。

梅津明夫健康課長。

**○梅津明夫健康課長** 平成25年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書44ページをお開きください。初めに、歳入でございますが、収入済額合計は前年度比30万9,511円、1.4%減の2,118万4,249円でございます。収入の内訳としましては、療養費交付金、利用料県補助金、一般会計繰入金、繰越金、雑入でございます。

次に、46ページをお開きください。歳出といたしましては、事業費としての支出済額が前年度比30万9,818円、1.4%減の2,108万3,523円でございます。

48ページになりますが、歳入歳出の差し引き残額10万726円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細書によりご説明申し上げます。

356ページをお開きください。歳入でございますが、1款1項療養費交付金、1目訪問看護費交付金は、収入済額1,150万7,147円でございます、前年度に比べ42万3,416円、3.8%の増となりました。内訳といたしましては、介護保険分861万2,092円、国保医療保険分289万5,055円でございます。訪問延べ回数は1,383回となり、前年度に比べ80回、6.1%の増となりました。

2款1項1目利用料、収入済額は121万1,183円でございます、内訳は介護保険、医療保険の利用者負担分と、保険外の交通費等でございます。こちらは前年度に比べ5万4,934円、4.8%の増でございます。

3款1項1目一般会計繰入金、収入済額は836万4,000円で、前年度に比べ95万2,000円、12.8%の増でございます。

4款1項1目繰越金は10万419円でございます。

5款諸収入、1項1目雑入は1,500円でございます、国保協力金でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

358ページをお開きください。1款1項事業費、1目訪問看護事業費、支出済額2,108万3,523円の内訳は、2節、3節、4節につきましては、職員の給料、職員手当、共済費でございます。7節賃金384万1,692円につきましては、定時補助職員及びパート看護師3名の雇い上げ賃金でございます。9節旅費5,000円は、普通旅費でございます。11節需用費36万4,534円は、公用車の修理代及び燃料費、医療材料費、消耗品費等でございます。12節役務費24万6,603円は、電話料、看護時の衣服のクリーニング手数料等でございます。13節委託料11万5,500円は、訪問看護支援システム保守管理委託料、定時補助職員健康診断料となっております。14節使用

料及び賃借料2万8,224円は、請求事務、患者情報等に利用しております訪問看護支援システムのリース料でございます。18節備品購入費は、データバックアップ用の機器購入費でございます。19節負担金補助及び交付金1万3,000円は、山形県内の訪問看護ステーションで組織します訪問看護ステーション連絡協議会の年会費となっております。

以上、平成25年度長井市訪問看護事業特別会計歳入歳出決算の概要につきまして説明を申し上げます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願いを申し上げます。

**○大道寺 信委員長** 次に、認第1号の平成25年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算について。

松木幸嗣福祉生活あんしん課長。

**○松木幸嗣福祉生活あんしん課長** 平成25年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

歳入歳出決算書の50ページをお開きください。最初に、款ごとの決算額等について、歳入からご説明いたします。

1款介護保険料は、調定額4億7,595万876円に対し、収入済額4億6,574万6,489円で、収入済額総額に占める構成比は17.3%、収納率は97.9%となっております。調定額のうち367万8,862円を不納欠損処分し、収入未済額は657万6,425円となっております。予算現額と収入済額との比較では897万2,489円の増となりました。

2款使用料及び手数料は、収入済額10万8,000円で、予算現額に対して3万8,000円の増となりました。

3款国庫支出金は、収入済額6億7,165万7,119円で、予算現額に対し649万1,881円の減となり、構成比は25.0%となりました。

4款支払基金交付金は、支出済額7億4,430万2,000円で、予算現額に対し2,924万円の減となり、構成比は27.7%となりました。

5款県支出金は、収入済額3億9,039万8,026円で、予算現額に対し1,251万8,974円の減となり、構成比は14.5%となりました。

6款財産収入は、収入済額29万374円で、予算現額に対し10万626円の減となりました。

7款繰入金は、収入済額4億15万8,927円で、予算現額に対し2,269万2,073円の減となり、構成比は14.9%となりました。

8款繰越金は、収入済額1,715万8,927円で、予算現額に対し927円の増となり、構成比は0.6%となりました。

9款諸収入は、収入済額54万2,020円で、予算現額に対し29万8,020円の増となりました。

収入済額合計は、調定額27億56万6,269円に対し、収入済額は前年度対比0.9%増の26億9,036万1,882円で、収入率は99.6%、予算現額に対し6,173万4,118円の減となりました。

次に、52ページをごらんください。歳出についてご説明をいたします。

1款総務費の支出済額は2,869万4,236円で、支出済額総額に占める構成比は1.1%、不用額は160万3,764円となりました。

2款保険給付費の支出済額25億4,234万5,787円で、不用額8,117万8,213円、構成比は95.8%となりました。

3款地域支援事業費の支出済額8,107万3,323円で、不用額388万1,677円、構成比は3.1%となりました。

4款基金積立金の支出済額29万374円で、不用額は10万626円で、構成比は0.01%となりました。

5款諸支出金の支出済額212万5,374円で、不用額は20万2,626円で、構成比は0.01%となりました。

6款予備費からの支出はありませんでした。

歳出合計では、予算現額27億5,209万6,000円に対し、支出済額が前年度対比0.2%増の26億5,452万9,094円で、不用額は9,756万6,906円で、

予算執行率は96.5%となりました。

歳入合計の収入済額26億9,036万1,882円から歳出合計の支出済額26億5,452万9,094円を差し引いた3,583万2,788円を翌年度に繰り越しさせていただくものでございます。

次に、事項別明細書によりご説明申し上げますので、362ページをお開きください。

1款1項介護保険料は、収入済額が前年度対比1.8%増で4億6,574万6,489円となり、第1号被保険者の保険料です。

2款1項手数料は、収入済額が前年度対比18.8%増で10万8,000円となり、介護保険料の督促手数料です。

3款1項国庫負担金は、収入済額が前年度対比3.6%増で4億5,473万1,583円となり、介護給付費負担金です。2項国庫補助金については、1目調整交付金が1億9,148万円、2目地域支援事業交付金が2,507万536円、364ページをお開きください、3目介護保険事業補助金が23万8,000円、4目介護保険災害臨時特例補助金が13万7,000円で、2項合計では前年度対比4.1%増で2億1,692万5,536円となりました。

4款1項支払基金交付金については、1目介護給付費交付金が7億3,551万2,000円、2目地域支援事業支援交付金が879万円で、1項合計で収入済額が前年度対比0.2%増で7億4,430万2,000円となりました。

5款1目県負担金は、収入済額が前年度対比0.8%増で3億7,813万2,006円となり、介護給付費負担金です。2項県補助金は、前年度対比0.7%増で1,226万6,020円となり、地域支援事業交付金です。

6款1項財産運用収入は、収入済額が前年度対比0.6%増で29万374円となり、基金積立金利子です。

366ページをお開きください。7款1項一般会計繰入金は、1目介護給付費繰入金が3億1,779万1,969円で、2目地域支援事業繰入金が

1,491万722円で、3目その他一般会計繰入金が2,845万6,236円で、1項合計では収入済額前年度対比1.1%増で3億6,115万8,927円となりました。2項基金繰入金は、収入済額が前年度対比34.6%増で3,900万円となりました。

8款1項繰越金は、収入済額が前年度対比18.9%増で1,715万8,927円となりました。

9款1項延滞金加算金及び過料は、収入済額が前年度対比55.7%減で4万9,010円となり、第1号被保険者の介護保険料の延滞金です。2項雑入は、収入済額が前年度対比53.6%増で49万3,010円となり、地域支援事業利用者負担金等でございます。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

370ページをごらんください。1款1項総務管理費は、支出済額が前年度対比35.8%減で852万8,575円となり、2項徴収費は、支出済額が前年度対比1.4%増で92万2,813円となりました。3項介護認定審査会費は、1目介護認定審査会費が358万3,124円で、2目認定調査等費が674万6,799円で、372ページをお開きください、3目主治医意見書費が884万6,825円で、3項合計で支出済額が前年度対比3.3%増で1,917万6,748円となりました。4項趣旨普及費は、支出済額が前年度対比180.1%増で1万円となりました。5項地域ケア包括会議費は、支出済額が前年度対比53.1%減で5万6,100円となりました。

2款1項介護サービス等諸費は、支出済額が前年度対比0.8%増で22億7,095万8,531円となり、要介護認定者を対象とした介護サービス等給付費でございます。374ページをお開きください。2項介護予防サービス等諸費は、支出済額が前年度対比5.9%増で1億2,476万4,273円となり、要支援認定者を対象とした介護予防サービス等給付費でございます。3項その他諸費は、支出済額が前年度対比2.1%減で276万7,667円となり、審査支払手数料でございます。

4項高額介護サービス等費は、支出済額が前年度対比0.1%増で4,121万1,217円となり、利用者負担が著しく高額になった場合の負担を軽減する保険給付であります。5項高額医療合算介護サービス等費は、支出済額が前年度対比21.5%増で530万5,776円となり、医療及び介護利用者の負担を軽減する措置で、一定の上限を超える額を給付するものであります。376ページをお開きください。6項特別短期入所サービス費は、支出済額1万31円で、皆増でした。7項特定入所者介護サービス等費は、支出済額が前年度対比8.6%増で9,732万8,292円となり、施設サービス利用時の居住費、食費負担等、低所得者の軽減分を補填するための給付でございます。

3款1項介護予防費は、1目二次予防事業費が1,095万723円で、2目一次予防事業費が3,215万2,111円でございます。1項合計は、支出済額が前年度対比7.3%増で4,310万2,834円となりました。378ページをお開きください。2項包括的支援事業・任意事業は、1目介護予防ケアマネジメント事業費が783万3,860円で、380ページをお開きください、2目総合相談支援・権利擁護事業が1,486万5,962円で、3目包括的・継続的ケアマネジメント事業費が901万3,647円で、4目任意事業が625万7,020円で、2項合計支出済額が前年度対比2.4%減で3,797万489円となりました。

382ページをお開きください。4款1項基金積立金は、支出済額が前年度対比98.5%減で29万374円となり、介護給付費準備基金積立金でございます。

5款1項償還金及び還付加算金は、1目第1号被保険者保険料還付金が9万8,200円で、2目償還金が202万7,174円で、1項合計支出済額が前年度対比73.5%減で212万5,374円となりました。

6款予備費の支出はありませんでした。

以上、平成25年度長井市介護保険特別会計歳入歳出決算の概要につきましてご説明申し上げます。よろしくご審査の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

○**大道寺 信委員長** 次に、認第1号の平成25年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算について。

鈴木一則まち・住まい整備課長。

○**鈴木一則まち・住まい整備課長** 平成25年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

68ページをお開き願います。歳入でございますが、宅地開発工事予算の計上のため、繰入金、市債で、収入済額合計が1億1,823万5,279円となりました。調定額及び収入額も同額でございます。

次ページの歳出をごらんください。宅地開発事業費、公債費で、予算現額が1億2,373万円、支出済額は1億1,823万5,279円となっております。予算現額に対する執行率は95.6%でございます。

それでは、事項別明細書により説明申し上げます。

406ページをお開き願います。歳入についてご説明申し上げます。

1款繰入金、1項一般会計繰入金、1目一般会計繰入金は、予算現額103万円、調定額及び収入済額が93万5,297円となっております。

2款市債、1項市債、1目宅地開発事業債は、予算現額1億2,270万円、調定額及び収入済額は1億1,730万円となっております。

次に、歳出についてご説明申し上げます。

次ページの408ページをごらんください。1款宅地開発事業費、1項宅地開発総務管理費、1目宅地開発総務管理費につきましては、主なものとして、13節宅地開発総務管理費行政事務経費、住宅供給公社とのコンサルティング業務委託料88万2,000円などがございます。2項宅

地造成費、1目宅地造成費では、主なものとして、13節委託料では開発行為及び用途廃止に関する諸図面等の作成委託料で118万2,300円、15節工事費では宅地造成工事費及び給水管分岐工事等で5,980万円、17節公有財産購入費では用地取得費5,788万6,000円、19節負担金補助及び交付金では消火栓新設工事等への負担金89万2,500円でございます。

2款公債費、1項公債費、1目利子につきましては、23節償還金利子及び割引料で3万3,279円は長期債利子でございます。

実質収支におきましては、歳入総額1億1,823万5,279円でございます。歳出総額と同額でございます。差し引き額はゼロ円でございます。

以上が平成25年度長井市宅地開発事業特別会計歳入歳出決算の概要でございます。よろしくご審査の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

**○大道寺 信委員長** ここで昼食のため暫時休憩いたします。再開は午後1時といたします。

午前 11時59分 休憩

午後 1時00分 再開

**○大道寺 信委員長** 休憩前に復し、午前に引き続き会議を再開いたします。

決算概要の説明を続行いたします。

## 認第2号 平成25年度長井市水道事業会計決算認定について 議案第74号 平成25年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について

**○大道寺 信委員長** 次に、認第2号 平成25年度長井市水道事業会計決算認定について及び議案第74号 平成25年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についての2件について。

横山賢一上下水道課長。

**○横山賢一上下水道課長** 認第2号 平成25年度長井市水道事業会計決算の概要についてご説明申し上げます。

決算書433ページ、水道1ページをお開き願います。以降、水道のページで申し上げます。

それでは、決算報告書からご説明申し上げます。これは予算額に対する決算額の対比を消費税込みで記載してございます。

初めに、収益的収入及び支出につきましては、収入の第1款水道事業収益の決算額は6億4,833万1,584円で、予算額に対し537万9,416円の減となり、支出の第1款水道事業費用の決算額は6億1,523万3,227円で、予算額に対し1,984万2,773円の不用額となりました。

水道2ページをお開き願います。資本的収入及び支出につきましては、収入の第1款資本的収入決算額は9,244万3,570円で、予算額に対し445万6,430円の減となりました。

水道3ページをお願いいたします。支出の第1款資本的支出の決算額は4億1,237万8,467円で、予算額に対し3,759万1,533円の不用額となりました。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3億1,993万4,897円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額632万4,663円及び過年度分損益勘定留保資金3億1,361万234円をもって補填させていただきました。

水道4ページをお開きお願いいたします。損益計算書により、経営状況についてご説明申し上げます。消費税抜きの金額でございます。

なお、詳細につきましては、後ほど収益費用明細書にてご説明申し上げます。

営業収益につきましては6億1,376万7,443円で、前年度対比679万8,897円、1.1%の減となりました。これは、収益の根幹となる給水収益において約857万円の減収となったことなどによるものでございます。営業費用につきましては4億7,945万7,437円で、前年度対比735万8,025円、1.6%の増となりました。その結果、営業収益は前年度対比1,415万6,922円、9.5%減の1億3,431万6円となりました。

水道5ページをごらんください。営業外収益は169万9,124円、営業外費用は1億941万1,516円となりました。当年度の損益につきましては、営業収益及び営業外収益から営業費用及び営業外費用を差し引いた経常利益は前年度対比869万2,348円、24.6%減の2,659万7,614円で、経常収支比率は前年度より1.5ポイント減の104.5%となったところでございます。

次に、特別利益は過年度損益修正益の239万8,172円であります。特別損失は過年度損益修正損の237万3,738円であります。

以上の結果、当年度純利益につきましては前年度より588万5,807円、18.1%減の2,662万2,048円となり、黒字決算で終了いたすことができました。

また、当年度純利益と前年度繰越利益剰余金を合わせた当年度末処分利益剰余金は1億868万8,553円となったところでございます。

次に、水道6ページをお開きお願いいたします。剰余金計算書につきましてご説明申し上げます。

これは資本金及び剰余金の当年度変動額による、当年度末残高計算表となっております。

資本金の欄で自己資本金の当年度の変動はなく、当年度末残高は前年度同額の10億693万5,238円で、借入資本金は企業債の発行による4,500万円の増と企業債の償還による2億1,379万4,430円の減で、当年度末残高は44億1,123万8,203円でございます。

資本剰余金については、合計欄で除却費への補填、補助金の受け入れ及びその他補償金の受け入れにより、当年度変動額は4,226万5,565円の増となり、当年度末残高は25億2,698万272円となっております。

なお、補助金の受け入れについては老朽管更新事業による国庫補助金、その他の補償金の受け入れについては道路改良工事による水道管移設補償費でございます。

利益剰余金については、合計欄で当年度純利益2,662万2,048円の増により当年度末残高は1億6,598万8,553円となり、資本合計につきましては81億1,114万2,266円となったところでございます。

次に、水道7ページをごらんいただきたいと思っております。剰余金処分計算書(案)でございますが、1,000万円を減債積立金に、1,000万円を建設改良積立金にそれぞれ積み立て、処分後の残高は8,868万8,553円でございます。

次に、水道8ページをお開きお願いいたします。貸借対照表により、財産状況についてご説明申し上げます。

資産の部につきましては、有形固定資産は建物や設備の減価償却などの減により1億1,136万7,848円の減で、67億7,217万5,792円となりました。

次に、水道9ページになりますが、流動資産は現金及び預金などの増で6,386万8,147円の増となり、資産合計は前年度対比5,037万9,079円、0.6%減の82億852万8,098円となりました。

一方、負債の部につきましては、営業未払金、その他の未払金が増となったことから、流動負債合計は前年度対比4,952万7,738円、103.5%増の9,738万5,832円となりました。

次に、資本の部につきましては、水道6ページの剰余金計算書のとおり、借入資本金で1億6,879万4,430円の減、水道10ページをお開き願います。資本剰余金で4,226万5,565円の増の25

億2,698万272円、利益剰余金で2,662万2,048円の増の1億6,598万8,553円などにより、資本合計は前年度対比9,990万6,817円、1.2%減の81億1,114万2,266円となり、負債資本合計は資産合計と同額の82億852万8,098円で一致してございます。

続きまして、水道38ページをお引きお願いいたします。収益費用明細書についてご説明申し上げます。

初めに、収益でございますが、1款水道事業収益の総額は6億1,786万4,739円で、前年度対比484万5,568円、0.8%の減となりました。1款1項営業収益は6億1,376万7,443円で、前年度対比679万8,897円、1.1%の減となりました。

内訳といたしまして、1目給水収益は営業収益の96.0%を占め、5億8,951万8,131円で、前年度対比856万9,702円、1.4%の減となりました。2目加入金は865万5,000円で、内訳は新規加入107件、口径変更が53件でございました。3目受託工事収益については、給水管の破損による工事費と消火栓破損による工事費で55万3,385円となりました。4目その他営業収益については1,477万8,427円で、各種手数料、消火栓移設及び修繕など、一般会計などからの負担金と、次の39ページになりますが、下水道使用料及び農業集落排水処理施設使用料の収納業務委託料の受託金などでございます。5目他会計繰入金は、公共下水道工事に伴う給水管布設替え工事費の26万2,500円でございます。

2項営業外収益は、受取利息、雑収入を合わせて169万9,124円で、3項特別利益は過年度損益修正益の239万8,172円でございます。

次に、水道40ページをお開きお願いいたします。次に、費用でございます。

1款水道事業費用の総額は5億9,124万2,691円で、前年度対比104万239円、0.2%増となりました。1項営業費用は4億7,945万7,437円、前年度対比735万8,025円の増となっております。

す。

内訳につきましては、1目浄水及び配給水費は前年度対比631万9,351円、5.6%増の1億1,926万6,575円で、これは定時補助職員のかわりに職員が1名分増加したことにより、1から3節、職員人件費関係で約429万円、電気料金の値上げ等により、20節動力費が約297万円増加したことなどによるものでございます。経費の主な内訳につきましては、職員人件費のほか各施設の管理業務など、14節委託料5,015万2,191円や、17節配水施設などの修繕費2,028万1,788円、次に41ページでございます、各浄水場、中継所などの動力費2,954万7,192円などの費用でございます。2目受託工事費は39万7,797円の皆増で、消火栓破損修理費と給水管破損修理費であります。3目業務及び総係費は、前年度対比238万9,572円、4.5%増の5,606万6,298円で、主に、定時補助職員が1名減になり4節賃金が減少したものの、新たに公営企業法改正に伴う法改正対応業務や規定整備業務の委託料が増加したことなどによるものでございます。内訳については、職員人件費及び未収金徴収員の賃金、次の42ページをご参照ください、電算業務や公営企業会計法改正業務委託料など1,033万476円、料金等の取扱手数料など206万9,699円などでございます。水道43ページになりますが、4目減価償却費は3億129万6,870円で、営業費用の62.8%を占め、前年度対比72万8,692円の増となっております。5目資産減耗費は242万9,897円で、揚水機交換などによる固定資産除却費で、前年度対比247万7,387円の減となりました。

2項営業外費用につきましては、企業債の支払利息及び雑支出に合わせて1億941万1,516円で、前年度対比552万8,075円の減となりました。

3項特別損失は237万3,738円で、冬期水道料金精算還付金、不納欠損処分金などでございます。不納欠損処分につきましては水道料金に係

るもので、平成18年度分から平成23年度分までの55件でありまして、転出も所在不明、会社倒産、自己破産、時効などにより回収不可能と判断し、不納欠損処分をさせていただいたものがございます。

44ページをお開きお願いいたします。次に、資本的収支明細書についてご説明申し上げます。

初めに、収入でございますが、第1款資本的収入の総額は、新たに老朽管更新事業が開始されたことに伴い、前年度対比8,433万9,602円増の9,244万3,570円となりました。内訳につきましては、1項企業債は老朽管更新事業債4,500万円で皆増となり、うち3,000万円は平成24年度からの繰り越し分となります。2項国庫補助金は水道水源開発施設整備費国庫補助金4,500万円で皆増となり、うち3,000万円は平成24年度からの繰り越し分となっております。3項その他の補償金は、その他事業に伴う配水管布設替え補償費183万9,820円で、森バイパス工事に伴う補償費となります。4項分担金及び負担金は宅地開発事業に伴う消火栓設置工事費60万3,750円で、宅地開発事業特別会計からの負担金となります。

次に、水道45ページになります。次に、支出でございますが、第1款資本的支出の総額は4億379万4,587円で、前年度より1億1,082万3,994円、137.8%の増で、当年度から新たに老朽管更新事業を開始したことによるものがございます。

内訳につきましては、1項建設改良費といたしまして、1目事務費は職員2名分の人件費など、2目老朽管更新事業費8,869万8,000円で平山境町線配水管布設替え工事を実施いたしました。水道46ページをお開きお願いいたします。3目配水施設整備費は4,539万1,836円で、県、市関連工事に伴う配水管布設替え工事及びそれに伴う設計業務委託料などがございます。なお、工事の概要につきましては水道16ページから水

道20ページに掲載しております。4目資産購入費は3,801万620円で、時庭中継ポンプ場高圧受変電設備及び揚水機などの購入費でございます。なお、資産購入の概要については水道21ページに記載しております。次に、2項企業債償還金につきましては、前年度対比760万9,688円、3.7%増の2億1,379万4,430円でございます。

以上、平成25年度長井市水道事業会計決算の概要でございます。ご審査の上、ご認定賜りますようよろしくお願い申し上げます。

続きまして、議案第74号 平成25年度長井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分についてご説明申し上げます。

本案は、地方公営企業法の改正等により、議会の議決を得て利益及び資本剰余金を処分することができることとなったことから、同法第32条第2項の規定に基づき、未処分利益剰余金を処分するため提案いたすものがございます。

なお、処分の内容でございますが、決算書の水道6ページ、剰余金計算書及び7ページの剰余金処分計算書をもとに、平成25年度長井市水道事業未処分利益剰余金1億868万8,553円のうち1,000万円を減債積立金に、1,000万円を建設改良積立金に積み立て、残余を繰り越しいたすものがございます。

以上、よろしくご審査賜りますようお願い申し上げます。

## 平成25年度長井市各会計決算に関する総括質疑

○大道寺 信委員長 以上で概要の説明が終わりました。

これから質疑を行います。

ここで、総括質疑の発言通告がありますので、順次ご指名いたします。